

乳がん体験者コーディネーター

Know (≠No) More Cancer

BEC: Breast cancer Experienced Coordinator

養成講座 第18期生募集要項・実施要綱

2022年9月1日(木)開講

申込期間:2022年7月1日(金)~2022年12月19日(月)

受講期間:2022年9月1日(木)~2023年5月20日(土)

受講申し込みはこちらから

<https://www.cancernet.jp/training/bec>



この講座を運営する団体

■認定 NPO 法人がんサーネットジャパンとは

認定 NPO 法人がんサーネットジャパンは、がん患者が本人の意思に基づき、治療に臨むことができるよう、患者擁護の立場から、科学的根拠に基づくあらゆる情報発信サービスの提供を目指すことをミッション(使命)とし、がん体験者・家族・遺族、その支援者、そして医療者と共に、日本のがん医療を変え、がんになっても生きがいのある社会の実現をビジョン(夢)とし活動を続けてきました。

その理由は、がんと診断された患者・家族は、氾濫するがん医療情報の中、医療提供者と受益者間で情報の非対称性の大きいがん医療において、科学的根拠に基づく、正しい情報にたどり着く事が困難であり、医療提供者と受益者(患者・家族)の間に立ち、受益者擁護の立場から、情報発信する必要性があったからです。認定 NPO 法人がんサーネットジャパンは今後も、がん患者や家族、また医療にかかわるあらゆる人々へ情報を発信し続けてまいります。

認定 NPO 法人がんサーネットジャパン

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2F

TEL:03-5840-6072 FAX:03-5840-6073

メール cinbec@cancernet.jp

第18期 乳がん体験者コーディネーター養成講座 -目次-

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 1. 講座の概要 | 9. 受講の方法 |
| 2. 受講期間 | 10. 前期講座の内容 |
| 3. 開講の背景 | 11. 前期修了試験 |
| 4. 開講の目的 | 12. 後期講座の内容 |
| 5. 受講資格 | 13. 乳がん体験者コーディネーター認定までの流れ |
| 6. 受講料 | 14. 認定後の各種手続きと認定継続要件等 |
| 7. 申込期間 | 15. 認定後の活動について |
| 8. 受講の手続き | |

1. 講座の概要

インターネット環境があれば「いつでも」「どこでも」「最新のがん医療情報」を学べる e ラーニング・システムを用いた講義です。「日本を代表する講師陣」による、全 20 科目の講義視聴とレポート提出、修了試験から構成される【前期】と、前期で学習した知識を活用するための実践的少人数学習プログラムの【後期】で構成されます。前期・後期すべて修了した方が、認定 NPO 法人がんネットジャパンが認める「乳がん体験者コーディネーター」と認定されます。

※前期の講座を受講し、修了試験に合格された方は「乳がん体験者コーディネーター養成講座修了生」となり、後期の受講資格があります。(前期修了のみでは、「認定」とはなりませんのでご注意ください)。

2. 受講期間

前期受講期間:2022 年 9 月 1 日(木)～ 2023 年 1 月 19 日(木)

前期修了試験:2023 年 2 月 3 日(金)～ 2023 年 2 月 5 日(日)

後期受講期間:2023 年 3 月 2 日(木)～ 2023 年 5 月 20 日(土)

全体発表・認定式:2023 年 5 月 20 日(土)予定

前期・後期ともに、カリキュラムにある各講義の web 公開日以降、受講期間内は何回でも視聴が可能です。この期間を過ぎますと視聴及び資料ダウンロードはできませんのでご注意ください。

3. 開講の背景

(1)日本におけるがん医療環境と現状

直近の統計では、日本におけるがん罹患全国推計値は 1,009,800 例(2021 年)*1、また死亡者数は 378,385 人(2020 年)*2 となっており、今後も増加が予測されています。一方、欧米、特に米国においては官民一体となった早期診断・早期治療の普及・啓発、臨床試験の普及・啓発・実施、それらから得られる標準的治療の普及により、死亡率に歯止めがかかり、乳がんなど特定のがん種においては、死亡率の低下を達成しています。日本の現状は、この 10 年でかなり進んできておりますが、医療の均てん化など、まだまだ問題は山積されています。

Reference 国立がんセンター がん情報サービス

*1 罹患予測 https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/short_pred.html

*2 死亡者数 https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/summary.html

(2)近年のがん医療の変化

国家レベルの取り組みとしては、厚生労働省は国立がん研究センターを中心とし、各都道府県にがん診療連携拠点病院の設置を進める他、2006 年 10 月には医療者向け、患者向けの「がん対策情報センター」を開設し、「がん対策推進」を図ってきました。また、2007 年 4 月からは、これらの問題解決を更に加速させる役割を持つ「がん対策基本法」*3 も施行され、同年 6 月には「がん対策推進基本計画」も閣議決定され、2012 年・2016 年・2018 年には更に現状に即した改訂がなされました。「がん対策基本法」の基本理念にもある「科学的知見に基づく適切ながんに係る医療を受けることができるようにすること」、「がん患者の置かれている状況に応じ、本人の意向を十分尊重してがんの治療方法等が選択されるようがん医療を提供する体制の整備がなされること」を広く実現するためには、医療提供側・医療者のみの変革だけでなく、同時に患者が医療消費者として、信頼性の高い情報にたどり着き、それを理解し、主体的に治療を選択できる環境の構築が急務となっています。

Reference

*3 がん対策基本法 https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=79aa8258&dateType=0&pageNo=1

(3)がん患者・家族・国民が置かれた環境

2006 年 10 月に「がん対策情報センター」が開設されて以降日々情報が追加・更新され、適切な情報を届けるための環境整備は進んでいます。また、がん関連学会編集による診療ガイドラインにおいては、近年学会等の努力により一般への公開が進み、各関係団体の整備はこの 10 年間でかなり進歩して来ましたが、患者・国民がアクセスできるがん相談窓口は、以前に比べれば大変充実してきたものの、認知・連携が不十分であるところも散見されています。

2011 年にがんネットジャパンががん患者、家族を対象に調べたアンケートによると、最も知りたい情報は「病気」や「治療方法」についてであり、その入手方法の第 1 位はインターネットという結果になりました。インターネットの普及により、がん医療情報の入手は容易になりましたが、一方で、専門知識がない医療消費者にとって膨大な検索結果の中から正し

い情報に辿り着くことは、新たな課題となりました。2016年に起こった「WELQ」問題*4は、私たち日本国民に「ネット上の正しい情報とは何か？」を真剣に考える機会を与えました。この問題を契機に、2018年1月、グーグルやYahoo!の検索エンジンのアルゴリズムが改訂され、以前に比べ、国立がん研究センターがん対策情報センターの信頼性の高い情報が検索サイトの上位に掲載されるようになりました。*5

しかしながら、信頼のある適切ながん情報へのガイド役、それをわかりやすく伝える役割の存在はまだまだ不足しています。

Reference

*4 DeNA プレスリリースより <https://dena.com/jp/press/3255>

*5 Yahoo! プレスリリースより <https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2018/01/30a/>

(Yahoo!は Google の検索エンジンを使用しています)

(4)がん患者・家族が直面する問題

がん患者・家族が「がん」と診断され直面する問題は、3つに大別されます。1つは、自身の治療上の決定における医療情報・各種治療の自身への影響、すなわち効果・有害事象(副作用)など体への影響、「Physical な問題」。2つ目は「がん」という診断に対する不安、治療の効果・有害事象(副作用)などに対する不安、生活・将来への不安などの「Mental な問題」。3つ目として、高騰化する医療費に関わる経済的な問題(就労を含む)、医療制度に関する問題、すなわち「Practical な問題」です。

(5)がん対策推進の取り組み

2018年3月9日に閣議決定された第3期がん対策基本計画*6では、「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」を全体目標に掲げ、日本のがん対策は新たなフェーズに進んだと言えます。今後は、「がん予防」「がん医療の充実」「がんとの共生」を分野別施策として、これまで以上にがん患者を含めた国民全員が、様々な立場からコミットしていくことが求められていきます。このような背景を考慮すると、乳がんを体験し、克服した患者・家族は、様々な点において、今後発症する乳がん患者・家族にとって、有益な情報発信者となり得ます。社会や教育現場では、当事者の声を聴こうという風土が生まれつつあります。実際に、米国を始め先進諸国においては、がんを克服した患者は、尊敬を込めて「Cancer Survivor: キャンサーサバイバー」と呼ばれ、彼らは乳がん早期診断と早期治療の啓発者として活躍している方が多くいらっしゃいます。

Reference

*6 第3期がん対策基本計画

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000196975.pdf>

4. 開講の目的

2007年4月、NPO 法人がんネットジャパンでは、患者・家族のニーズに応えるべく、民間レベルにおいて、信頼性の高い、科学的根拠に基づいた、その時々における良質で信頼性の高い乳がん医療情報を提供し、かつ、それらの乳がん特有の医療情報等を患者の言葉にし、伝えることのできる「乳がん体験者コーディネーター」の人材養成講座をスタートさせました。

「乳がん体験者コーディネーター」は、乳がんと診断され直面する問題(主として乳がん医療情報に関する問題)を、解決できる・あるいは解決に導く既存の信頼性の高い情報にアクセスし、提供できる能力を習得します。本養成講座により「乳がん体験者コーディネーター」を養成・輩出し、国が掲げる「がん対策推進」に寄与し、日本における民間組織(NPO 法人)の役割を果たし、これをもってがん医療へ貢献することとします。

なお、本講座は「こころのケア」「カウンセリング」のスキルを認定するものではありません。ピアサポーター・カウンセラーの養成を、直接の目的としていません。

※2007年4月に第1期を開講し、第17期まで600名以上の様々な立場の方々に受講頂きました。

- ・自身の治療をより深く理解したい方
- ・乳がん体験を持ち、今後がん医療への関与を希望する方
- ・がん患者団体等でピア(体験者)の立場として患者相談などの活動をされている方
- ・医療機関に勤務する医療者(看護師・薬剤師・ソーシャルワーカーなど)で乳がん体験を有する方
- ・乳がん患者(乳がん体験者)を持つ家族・遺族で、今後がん医療に関わりを持ちたいと考える方
- ・製薬企業で営業・開発・教育研修を担当している方
- ・医療、社会保障、科学等を担当するジャーナリストの方

5. 受講資格

- 主たる治療(手術・抗がん剤など)を終了した乳がん体験者(応相談)
- 乳がん患者を持つ成人家族
- その他 認定 NPO 法人がんネットワークジャパンが認める者等^{注)}
^{注)}「乳がん体験者コーディネーター」に求められるものは、信頼性の高い乳がん情報にアクセスし、乳がん患者の立場に立ち情報を提供する能力であり、原則的に、受講者の資格・バックグラウンドは重要でないと考えており、志しあるその他の者についての門戸も開かれています。

上記どれかに当てはまる方で、以下を満たす方が受講いただけます。

- 本名で受講いただける方
 ※SNS 等で利用するハンドルネームや仮名でのお申し込み、認定証発行はできません。
- **基本のパソコン操作ができ、資料のダウンロード、Word を使用しての添付、送信ができる方、インターネット及び E-mail (携帯電話は不可) 使用、E-mail による Word・PDF ファイル等添付送受信が可能な環境がある方。かつ、代表的な検索エンジン (Yahoo・Google など) が使用できる方。(ipad 使用者も同様です。必ずご確認ください。)**
 ※事務局からの連絡は原則として、E-mail の一斉配信で行われます。但し、Gmail、Yahoo mail 等のフリーメールをご使用の方は、事務局からの連絡が迷惑メールフォルダ、ごみ箱等に振り分けられる事例があるためご留意頂き、必ず迷惑メールフォルダもご確認ください。
 ※本養成講座では、受講者に対する個別のパソコン環境、動作環境に関する問い合わせには対応できません。

【重要】

*** 下記の URL にアップロードされているコンテンツが問題なく再生可能である事を必ず確認して下さい。
 このコンテンツの再生が出来ない場合、受講が不可能です。お申し込み後、動画視聴不可に伴う返金はお受けできません。**

乳がん体験者コーディネーター(BEC)養成講座

< <http://www.cancernet.jp/training/bec> >内

「BEC について」 < <https://bit.ly/2Sxw9UQ> >



*参考資料 <<本講座を視聴するために必要な要件>>

お使いになる端末により、必要な OS、ブラウザが異なります。必ずご確認ください。

● Microsoft Windows をお使いの方

OS	再生ブラウザ	ネットワーク
Windows 10 または 11	Google Chrome Microsoft Edge **Microsoft Edge 40 ではライブ配信およびオンデマンド配信(Smooth Streaming)は視聴できません。	ブロードバンドインターネット接続 または Wi-Fi 接続

● Mac をお使いの方

OS	再生ブラウザ	ネットワーク
Mac OS X 10.10 以降	Safari 8 以降 Google Chrome	ブロードバンドインターネット接続 または Wi-Fi 接続

● iPad をお使いの方

端末	OS	再生ブラウザ	ネットワーク
iPad 第3世代以降 iPad Air iPad Air 2 iPad Mini 第1世代以降	iOS 8.0 以降	Safari	Wi-Fi 接続 または モバイルデータ通信接続 (4G 以降)

● iPhone / iPod をお使いの方

端末	OS	再生ブラウザ	ネットワーク
iPhone 5 以降 iPod Touch 第5世代以降	iOS 8.0 以降	Safari Mediasite Mobile App (iOS 8 または iOS 9) **Mediasite Mobile App は Apple App Store から無料ダウンロード 可能	Safari Mediasite Mobile App (iOS 8 または iOS 9) **Mediasite Mobile App は Apple App Store から無料ダウンロード可能

● Android(オンデマンド再生のみ)をお使いの方

OS	再生ブラウザ	ネットワーク
Android 4.4 以降	Chrome browser	Wi-Fi 接続 または モバイルデータ通信接続 (4G 以降)

6. 受講料(消費税別)

種別	早期割引期間 (2022年9月30日まで)	通常申込期間 (2022年12月19日まで)	※BEC 既認定者
前期	¥80,300(税込)	¥90,200(税込)	¥29,700(税込)
後期 (*前期試験合格者)	¥50,600(税込)		

【紹介者割引】(早期割引と併用可)

BEC 講師、または BEC 認定者からのご紹介がある場合、紹介者割引(割引額¥9,900)の適用となります。必ずお申し込み時に、指定の欄に紹介者のお名前をご記入ください。(申し込み後は対応できませんのでご了承ください。)

【いちばん星割引】

岩手県・山形県・富山県・鳥取県・島根県・大分県以上6の県にお住いの方は、前期通常受講料が¥70,400(税込)になります。(該当する方は、現住所を証明するものの写しをご提示下さい。)

※BEC 既認定者は、前期のみ再受講することが可能です。

7. 申込期間

2022年7月1日(金)～2022年12月19日(月)

前項の通り、早期割引期間(2022年9月30日まで)と、通常申込期間(2022年10月1日～2022年12月19日まで)では受講料が異なりますのでご注意ください。

8. 受講の手続き

(1) 申し込み方法

前項 8.の申し込み期間内に、Web 上の「乳がん体験者コーディネーター(BEC)養成講座」のページ

< <http://www.cancernet.jp/training/bec> >よりお申し込みください。

※SNS 等で利用するハンドルネームや仮名でのお申込みはできません。

(2) 受講申し込み受付と受講料支払い

申込フォームへ記入されたメールアドレス宛に、受講料支払い方法案内メールをお送りいたします。お支払いはクレジットカード決済・銀行振込・コンビニ決済よりお選びいただけます。なお、案内メール到着後1週間以内のお支払いをお願いしています。数日経過してもメールが届かない場合は、お手数ですがお問い合わせ下さい。ご入金後は、いかなる場合も返金は致しかねます。

ご入金後、こちらで確認が取れましたら、その旨ご連絡いたします。なおシステム上、入金確認に数日かかる場合がございますのでご了承下さい。

(3) ID、パスワードの発行

E-Learning システムを受講頂くための ID とパスワードが、受講生おひとりずつに付与されます。開講前のお申込の場合は開講が近づきましたら、開講後のお申込の場合は入金確認時に、メールにて ID とパスワードをご連絡いたします

9. 受講の方法(前期・後期共通)

(1)e-Learning システム「VALUE(ヴァリュー)」を利用して受講いただきます。

専用サイトへ各自でログインし受講を進めて頂きます。動画視聴、資料ダウンロード、レポート提出、質問等メッセージのやりとりなど、一括して学習を行えます。事前に[6. 受講資格]をご覧ください、くれぐれもご自身で動画にアクセスできることをご確認ください。

(2) 講義資料(PDF)のダウンロード

受講生専用サイト内の講義名をクリック。「資料ダウンロード」をクリックすると各講義の資料をダウンロードできます。

(3) 講義動画の視聴

受講生専用サイト内の講義名をクリック。「動画」をクリックして視聴を開始して下さい。動画のダウンロードはできません。

※前期の視聴および資料ダウンロード、レポート提出期間は、2022年9月1日(木)～2023年1月19日(木)、後期は、2023年3月2日(木)～5月20日(土)です。

10. 前期の講座内容

オリエンテーションを含む**全 20 科目の受講(視聴)**と、オリエンテーションを除く**19 コマのレポート提出(Word ファイルを E-Learning 専用システムより提出)**が、前期修了試験の受験資格となり、修了試験に合格することが、前期講座修了要件となります。※レポート提出期限 2023年1月19日(木)。講義視聴履歴の管理、及び責任は受講者各自に委ねられます。



11. 前期修了試験

<乳がん体験者コーディネーター前期修了試験概要>

この修了試験は、「科学的根拠に基づく医療情報」、「信頼性の高い医療情報」にアクセスし、回答を得る能力を確認する試験です。**インターネット環境で、ご自宅での受験が可能です。**

■試験期間： 修了試験配信開始日：**2023年2月3日(金)**

解答提出期限：**2023年2月5日(日)**

* 解答方法は、インターネットを使用して実施。FAX や郵送での提出は受け付けません。

* 配信開始日に配信されたテストに解答し、解答提出期限までに提出していただきます(提出は1回のみ)

■合否判定： 本試験の合否基準は、「科学的根拠に基づく医療情報」、「信頼性の高い医療情報」にアクセスし、回答を得る能力のみであり、受験者間での相対評価、事前の合格者数の設定は行なっていません。また、合否に関する個別の問い合わせ、合否基準に関する問い合わせには対応致しません。

■修了証： 試験合格者には、乳がん体験者コーディネーター前期プログラム修了証を発行致します。なお、試験不合格で、再受験を希望する場合は、次期(19期)の受験が可能です(受験料¥5,500)。

合否発表は2023年2月14日(火)を予定しています。

12. 後期講座の内容

乳がん体験者コーディネーター養成講座(前期)修了者は、前期で習得した系統的知識、乳がん医療情報の扱いを実践に活かすための演習を主眼とした養成講座(後期)の受講資格を得ます。後期プログラム修了者を NPO 法人がんネットワークジャパン認定乳がん体験者コーディネーターとし、認定証を発行します。

後期講座は、**2023年3月～5月**の開催を予定しており、詳細は**2023年2月頃**に受講生にお知らせいたします。後期プログラムは、下記を予定しています。* 前期修了試験に合格し、後期受講をもちこす場合は、次年度までといたします。

(1) web 講義

- ① BEC に期待される役割、Must do 5、Must not do 5
- ② がんとコミュニケーション
- ③ ピアサポートの活動とは？
- ④ プレゼンテーションの基礎知識

(2) ケーススタディ・ロールプレイ

e-learning ではなく、4～6 名程度の少人数でのグループワークです。平日・土日祝を含む数日の候補日の中からスケジュールを調整して日程を決めます。同日午前にケーススタディ、午後にロールプレイを CNJ 東京事務局(※1) で開催します。東京以外にも、受講生が 5 名前後集まることが可能な地域がある場合、他地域での開催も検討いたします。過去には、大阪、仙台、鹿児島、青森での開催実績があります。

※1)原則、対面での開催を予定していますが、**今後の新型コロナウイルスの状況により、オンラインでのケーススタディ、ロールプレイに変更になる可能性もあります。オンラインの場合、ご自宅等プライバシーが保たれる場所で、また WIFI 環境ならびに、カメラ、マイク機能がある PC、またはカメラ、マイクを PC に取り付けて頂くことが必須になります。(タブレット使用可、スマホのみの受講は不可)** 予めご了承ください。

(3) 全体発表・修了式(東京都内貸し会議室 ※2)

講座(前期・後期)受講を振り返り、全体を通じて学んだこと、反省点、要望点などに加え、今後の活動の展望について、各自 5 分程度の発表を行い、全員で学びを共有します。**2023年5月20日(土)**を予定。

※2)原則、対面での開催を予定していますが、**今後の新型コロナウイルスの状況により、こちらもオンラインに変更する可能性があります。** 予めご了承ください。なお欠席の場合、事前動画収録やレポート等の代用のご相談をお受けします。

13. 乳がん体験者コーディネーター認定までの流れ

■養成講座(前期)

- (1) 全 20 講義の視聴と、オリエンテーションを除く 19 講義のレポート提出
- (2) 前期修了試験受験
合格→養成講座前期修了(修了証を発行)



■養成講座(後期)

- (1) 全 4 講義の視聴と、3 講義のレポート提出
- (2) ケーススタディ・ロールプレイ(1 日、対面)
- (3) 全体発表・修了式
→認定乳がん体験者コーディネーターとして登録

※後期講座に進んでいただいた方でも、キャンサーネットジャパンが BEC としてその素養に相応しくないと判断した方は、認定しない場合があります。その場合、後期講座の受講料は返金いたします。

14. 認定後の各種手続きと認定継続要件等

認定者は、認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン事務局内「BEC/CIN 認定継続フォローアップ委員会」に登録されます。初回登録料 15,000 円(税込)は、後期受講料に含まれます。以後、継続を希望する場合は、3 年毎の更新時に更新料として、10,000 円(税込)を申し受けます。

当委員会は、認定者の認定継続と質の管理、フォローアップのための研修・情報発信等を行います。認定は 3 年間の更新制となり、下記、<認定継続に必要なポイントの内容について>に定める認定継続要件である 15 ポイント以上の活動を必須とします。認定者の継続学習や認定継続に関する窓口は、全てこの委員会が行います。

更新 4 回目(認定後 12 年目)以降は、3 年毎の更新時に 3,000 円(税込)の更新料を申し受けます。

<認定継続に必要なポイントの内容について>

認定を更新するための条件である更新ポイントは 15 ポイントです。

1. 継続学習の機会への参加

- CNJ が主催・共催・後援するイベント 2P
- CNJ が認めるがん関連学会 3~5P
- 科学的根拠に基づき、情報発信しているセミナー・シンポジウムへの参加 1P

(ご報告内容に基づき、ポイント対象から除外させていただく場合もありますので、ご不明な場合は事前にお問い合わせ下さい。)

2. 相談活動に従事 2P
3. 講演活動 3~5P
4. 啓発・支援活動の企画・実施 2P
5. BEC 養成講座前期プログラム再受講 15P
6. アドバンス講習会への参加 3P
7. CCN(CNJ がんナビゲーター) <https://www.cancernet.jp/training/ccn> を受験し合格した場合 5P
8. CNJ キャンサーチャンネル(<https://www.cancerchannel.jp/>) の視聴 1 本(30 分以上)につき 1P

15. 認定後の活動について

本養成講座を受講され、修了・認定された方々は、ご自身の仕事の中で、またはボランティア活動や患者会活動において、本プログラムで習得されたがん医療情報の基本的知識、最新の情報へのアクセスのスキル等を活用頂いております。更に、NPO 法人キャンサーネットジャパンが企画・運営する各種セミナー・プログラム(「CNJ がん情報ステーション」、「CNJ がん医療セミナー」、「外部研修プログラム」など)、また、病院内外でのピアサポーターとして活躍されているほか、民間企業、自治体等によるがん医療啓発活動での講演などでも活躍されています。ただし、本講座では認定後の職業の保証はいたしません。

* BEC 認定者の活動状況はこちら→ <https://www.cancernet.jp/training/beccin-activity>